

下水道コンセッション事業の事例①(浜松市西遠処理区)

<事業概要>

対象事業： 処理場（1か所）・ポンプ場（2か所）（西遠処理区＝浜松市内最大処理区）の維持管理・機械電気設備改築更新
事業期間： 20年間（平成30年4月事業開始）
運営権者： 浜松ウォーターシンフォニー株式会社
 （ヴェオリア・ジャパン、ヴェオリア・ジェネッツ、JFEエンジニアリング、オリックス、須山建設、東急建設が設立した特別目的会社）
VFM： 14.4%
 （総事業費（現在価値換算後）が約600億円 → 約514億円へ縮減）
運営権対価： 25億円

【運営権者の取組と効果】

- 修繕等の内製化： 保安全管理費を約**35.8%削減**（令和3年度）
 （浜松市想定コスト6.46億円⇒4.15億円）
- 運転管理最適化による節電・投入薬品等の節約による環境負荷の低減：
 エネルギー消費原単位**1.7%減**、ユーティリティ費約**36.6%減**
- 委託業者/運営権者の従業員における正規雇用の割合：
 平成29年度末74%（46名中34名）→令和3年度末**85%**（46名中39名）

【特徴的な取組】

- ① スマートフォンを活用した点検
 - ② 維持管理と改築の一体的な実施業務の効率化
 - ③ 市職員及び市内業者を招いて
 - ④ 地域活性化に貢献する起業家支援プログラムを実施
- ※労働安全衛生教育を開催

【視察への対応】

- 行政・企業等から約800名が視察（平成30年4月1日～令和4年3月31日）
 ※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により現地視察の受入れ停止

<事業対象施設の位置図>



<スケジュール>

平成25年度	導入可能性調査
平成26年度	デューデリジェンス実施
平成28年2月	実施方針に関する条例制定・実施方針策定
平成28年4月	静岡県より対象施設移管・包括的民間委託開始
平成28年5月	事業者公募
平成29年3月	優先交渉権者選定結果の公表
平成29年10月	運営権設定・実施契約締結
平成30年4月	事業開始